

◎23年度施政方針

人間力、地域力を向上させる 協働のまちづくり

小沢昌記市長は、2月25日開会の平成23年第1回奥州市議会定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その要旨を紹介いたします。

〔本庁政策企画課（内線415）〕

財政課題の解決について

高齢化や人口の減少が一層進む今、組織と業務の合理化、規模の適正化に努め、最少の経費で最大の効果を上げる必要があります。

市の財政は、個人所得の減少などで市税収入が減少し、財源の多くは地方交付税に頼らざるを得ない状況です。しかし、子ども手当や生活保護費などの社会保障費や、特別会計・公営企業会計への繰出金などで市の歳出は増加が見込まれます。

また、土地開発公社の健全化に向けた取り組みが喫緊の課題であり、任期内での財政健全化に不退転の覚悟で臨みます。

市が抱える財政課題は3つです。1つ目は土地開発公社です。24年度以降に第三セクター等改革推進債

の活用とあわせて、公用地の買い戻しや民間売却を進めるよう、抜本的な経営改革に着手します。

2つ目は総合水沢病院です。単年度黒字化に向けて努力します。特に医師の確保のため、大学への医師派遣要請や、医師養成奨学資金貸付事業などに取り組みます。

3つ目は岩手競馬です。23年度は、収支均衡はもとより「岩手競馬経営の将来方向検討会議」の議論を踏まえ、地域に根ざした産業として、継続発展できるよう対策を進めます。

行財政改革と 地域自治のまちづくり

この難局を乗り越えるには「都市経営」の考え方の下に、しなやかな行政運営を実現しなければなりません。発想の転換や市民の皆さんとの役割分担により、組織や機能の改革

を行います。改革に伴う施策の選択と資源の重点配分、これらが私に課せられた最大の使命と強く受け止め、全力を傾注します。

本年開催した市政懇談会では「自助、共助、公助」の理念の下、責任と役割を明確化する「協働のまちづくり」を呼び掛けました。その支援と仕組みづくりを約束したところです。皆さんに信頼される行財政改革に取り組むことが、その一歩と確信します。

「変革・挑戦・集中・協働」の4つを「スタイル」として行動し、たくさんの「変える」の実現に、市役所組織を挙げてまい進します。

幸せを実感できるまちづくりへ 共に踏み出そう

「世界の科学者から望まれる都市には、しっかりとした教育と医療レベルが必要」。過日、国際リニアコライダー研修会に、つくば学園都市を訪問した際の担当教授のお話です。市の目指すべき方向性がそこにあります。安心して子どもを生み育てる環境を整え、医療・福祉の充実を図る。このことに迷いなく進まねばなりません。それは合併して良かった

と実感できる「まち」をつくり上げること、そのものです。

市の先人、後藤新平が残した自治三訣「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そして報いを求めぬよう」。これが、市の未来を切り開くキーワードです。

行政、住民が共に手を携えて「協働のまちづくり」を推進することが「幸せを実感できるまち」をつくり上げる第一歩と信じてやみません。皆さんと共にその一歩を踏み出すことを願い、施政方針とします。

部門別重点事項

1 豊かな自然と共生する 快適で安全なまちづくり

- 23年度に基準を設け、指定ごみ袋以外も活用する
- 自主防災組織の組織率向上を図り、実践活動を支援する
- 市バス運賃と運行頻度を見直し、コストを削減する

2 みんなで創る 自立したまちづくり

- 市民活動支援センターの活動を充実し「市民が選択する市民公益活動団体支援事業」を継続する
- 国際、国内姉妹都市と交流し、一層親交を深める

3 活力と賑わいと豊かさの あるまちづくり

- 農業者戸別所得補償制度を有効に活用し、生産基盤を整え農用地の利用集積を推進する
- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉は、国の農業振興策が示されない限り、断固反対する
- メイプル西館を「交流ふれあい施設」として整備、水沢区大町地区商店街の歩道バリアフリー化や空き店舗活用を支援する
- 企業誘致による雇用創出と、離職者の就職支援や不安解消に努める
- 東北新幹線の全線開通や平泉世界文化遺産登録の機会を生かして、観光施策の充実を図る

4 すこやかで心豊かに 暮らせるまちづくり

- 高齢者を地域で支える要援護者個別台帳を作成する
- 子育て総合支援センターを開所し、子育て広場や発達支援など、複合的に子育てを支援する
- 第4期介護保険事業計画を進め、特別養護老人ホームを整備する
- ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンの接種について、費用の全額を公費負担する
- 国民健康保険財政の健全運営や医療費抑制のために、健診の受診率の向上に努め、健康づくりを指導する

5 人にやさしい楽しく 暮らせるまちづくり

- 生活関連道路は緊急性、重要性を考慮し整備する
- 下水道、農業集落排水、市営浄化槽の使用料を23年度にそれぞれ統一する
- 「胆沢ダム周辺整備計画」を基本に、地域振興の拠点づくりを推進する

6 新しい奥州を担う 人づくり

- 市シックスクール対策マニュアルに基づき、児童らの安全に配慮した改築・耐震補強事業を進める
- 白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡の発掘調査に取り組み、世界遺産登録への追加登録の実現に努力する
- 8月に開かれる全国高等学校総合体育大会ウエトリフティング競技の成功に万全を期する



にぎわいを呼んだ「おっけー市」（水沢大町商店街振興組合主催）